

災害時は「共助」の姿勢をたいせつに！

！ 冷静さと助け合いの精神が大切です

災害対応を考える上で、自助・共助・公助という言葉があります。「自助」は自分で身を守ること、「公助」は行政による支援救助のことをいいます。

共助

人命救助では、初期段階の行動が非常に重要です。例えば、心臓が止まった人に約3分間救命行為をしなかった場合、助かる確率は20%程度まで低下すると言われています。近年日本では東日本大震災や熊本地震などの大災害が発生しており、日常を一変させる災害はいつ起きてもおかしくありません。大規模災害発生時、行政が行う被災者支援である「公助」には限界があります。自分で自分の身を守る「自助」、家族や地域で助け合う「共助」の重要性を認識し、災害に備えましょう。

災害時には、自分が助からないとお互いに助け合えません。

